



主催者を代表してあいさつする高橋八一議長

10月27日～28日の二日間、山梨県石和において、党南関東ブロック活動交流集会在開かれました。
▽冒頭、高橋八一議長は「台風、河の氾濫、水害、崖くずれ、停電など連日メディアが報じているが、神奈川でも箱根、相模原、川崎、横浜でも被害が出ている。国会では大臣が一月余りで辞任するなど何がおこるかわからない状況。先

活動交流集会開かれる

党南関東ブロック 山梨県石和

の参院選では政党要件2%をクリアしたものの厳しい状況は続いている。3県、いろいろ課題はあるが二日間の討議で問題を共有化して有意義な会議にし足元の活動を前に進めてほしい。」と挨拶しました。



得票率3%、5議席以上

来賓として参加した党全国連合の中川直人氏は「南関東地区では議長も挨拶で触れていたが、亡くなられた方、被災され

た方にお見舞い申し上げます。全国連合としても長野、福島、神奈川にもこれまで足を運び問題点を政策課題として取り組んでいる。『安倍総理は国民の生命・財産・守ると言いながらどういう政策・防災に力を入れるのか』という論調がメディアに書かれているが記録的とか予想以上とか、想定外とか、そういう言葉では許されない状況が続いている。先の参院選で改憲発議のできる三分の二の議席を取らせなかったことは評価できるが、次の衆院線では得票率3%、5議席以上と目標を立てた。『改憲させない、憲法に触れさせない運動』を労働組合、市民運動と一体となって作っていくことが求められている」と挨拶しました。



左から兼子事務局長、高橋八一議長、中川直人氏
金子豊貴男幹事長(神奈川)、深沢高行幹事長(山梨)

カジノ誘致撤回要請書



2019年9月12日

横浜市長
林 文子 様

社会民主党横浜市連合
代表 大庭悟彰
幹事長 小林達夫

横浜市のカジノ誘致方針撤回を求める要請書

横浜市政の発展に向け、日夜ご努力を重ねておられることに敬意を表します。

8月22日、貴職の突然の「カジノを含む統合型リゾート(IR)の事業誘致表明」に驚き、多くの疑問、強い怒りを禁じ得ません。

貴職におかれましては、IR導入について、2017年の市長選挙において、「カジノは白紙」と明言して当選しました。本年6月24日～25日に行われた横浜市によるIR説明会での調査報告で、市はIRの良い面のアピールを前面に出し、悪い面の検討は不十分でした。横浜市はカジノ無しの事業検討はしておらず、調査とは名ばかりでカジノ誘致ありきで市民を誘導するアリバイ的な報告でした。IR説明会の場において発言した市民の意見はほとんどがカジノ誘致に反対でした。各社報道でも明らかのように市民の多くがカジノを含むIRの誘致に反対しているにも関わらず、貴職が方針を転換させることになった理由を明らかにして市民に説明する責任があります。

ギャンブル依存症は生活破壊を招く恐ろしい病気です。勤労意欲を奪い、家庭や友人関係を壊し、多重債務を負い自死に追い込まれる人がいます。カジノを誘致すればギャンブル機会が増加して、ギャンブル依存症になる人が増えることは、世界でみてきたカジノの現状をみれば、明らかであり、地域の風俗環境の悪化を招くことも、明らかであります。

横浜市は市民の健康を守る行政責任があります。ギャンブル依存症患者の増大や多重債務者を増やすことに対する社会的コストに対して横浜市は責任を問われることになるでしょう。

横浜市は超高齢化や人口減少社会による税収の減少に対応するために、カジノを含むIR誘致を行うと考えているようですが、超高齢化で人口減少社会であるからこそ、未来に持続可能な社会の構築が必要です。カジノ収入に依存する市財政に陥ることは許されません。

以下、要請書を提出いたしますので、今後の施策に反映されますよう強く要請いたします。なお、回答については、文書でお願いします。

記

1. 横浜市はカジノを含む統合型リゾート施設(IR)を山下埠頭(同市中区)に誘致すると表明したことについて、撤回をすること。
2. 開会中の議会に提案しています関連補正予算は、取り下げること。
3. 市民との対話集会の開催をするとともに、だされる意見を尊重すること。
4. 山下埠頭の再開発計画について、市民の意見を広く取り入れ、検討すること。

以上

2日間で活発な討論 災害・参院選総括・消費増税…

▽第一単位は「参院選の総括」で経過を山梨、神奈川、千葉からそれぞれ報告。
▽第二単位は「政策・運動の課題」で神奈川からは前田常任幹事から「川崎における憲法改憲の闘いの報告」、千葉からは二階堂常任幹事から「会計年度職員制度について」の経過・問題点、山梨からは山田代表による「消費税はくらしを脅か

し、社会をこわす問題点がある」など報告と問題点。
二日目の討論は神奈川松本常任幹事から「横浜でのIR誘致の問題点とこれまでに闘いの報告」、千葉からは小倉常任幹事による「自治体選挙総括と野田市における小学4年生の虐待・死亡事件」、山梨からは山田代表による「働き方改革の問題点」「自治体から見た消費税問題」など提起され相互討論形式で活発な議論が行われた。
▽参加者は19名。討論集会は三県持ち回りで開かれ、来年は神奈川の予定。

2020は神奈川です



左から小倉良夫常任幹事、二階堂剛常任幹事、山田厚代表



集中豪雨・台風災害の
救援募金のお願い



- 郵便振替口座番号「00180-4-602982
- 口座名 「社民党・災害救援カンパ」

「がんばれ社民党」カンパに協力を郵便振替0013009148037(口座名「がんばれ社民党」)